

超精密とメカトロメーションを追求する
Seibu

第77期

第2四半期
株主報告書

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで

西部電機株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第77期第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

平成21年12月



取締役社長 吉任一成

業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外の経済対策効果によって、輸出や生産に改善の動きが見られ、景気は底入れしたものとされますものの、設備投資の抑制や円高基調は続き、経済活動は依然として低水準で推移するという経過を辿りました。

この様な情勢の中で、当社グループは新商品の開発、提案型営業の積極的展開、品質ならびに生産性の向上、さらにはコストダウンや徹底した経費削減に全社を挙げて努力してまいりました。その結果、当社グループの連結業績は、輸出の減少に加え、設備投資圧縮の影響を受け、受注高は63億4千4百万円（前年同期比26.6%減）、売上高は54億4千6百万円（前年同期比28.9%減）となりました。また、損益につきましては、経常利益は4千6百万円（前年同期比89.9%減）、四半期純利益は2千7百万円（前年同期比88.7%減）となりました。

今下半期のわが国経済は、企業の設備投資や個人消費の動向が不透明であり、予断を許さない状況が続くものとみられます。

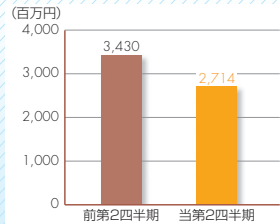
当社グループといたしましては、さらに企業体質を強化するために、変化する経済環境を十分に認識いたし、景気に左右されないオンリーワンのな新商品の開発と、これらの市場投入による受注・売上の拡大、コストダウンや経費の削減に一層注力いたす所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

部門別売上の状況（連結）

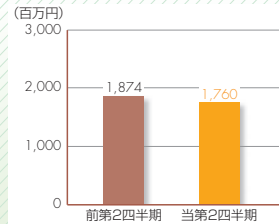
【搬送機械部門】

搬送機械部門では、既存顧客からのリピート受注、小型自動倉庫や製造業の生産・物流分野などに、ピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともに、サービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。しかしながら、実体経済の悪化に伴う設備投資抑制の影響を受けるなど、厳しい状況で推移しました。その結果、受注高は32億7百万円（前年同期比23.4%減）、売上高は27億1千4百万円（前年同期比20.9%減）となりました。



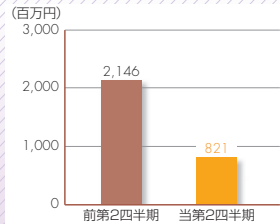
【産業機械部門】

産業機械部門では、民間需要の掘り起こしや既存市場におけるシェアアップに注力いたしました。その結果、ゲート市場向けアクチュエータが比較的堅調に推移し、予算の前倒しや補正予算の効果もあり、受注高は23億2千8百万円（前年同期比6.1%増）となりましたが、売上高は長納期受注品の増加もあり、17億6千万円（前年同期比6.1%減）となりました。



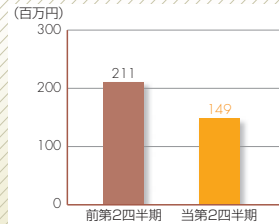
【精密機械部門】

精密機械部門では、既存顧客の更新需要や新規商社の開拓に注力するとともに、放電機械は、新商品を中心にPRを展開し、半導体やデジタル家電向け、工作機械は、光学・自動車・IT・エコ部品加工市場などに拡販を行ってまいりました。しかしながら、円高に加え、世界的な需要の減退から、企業の設備投資意欲は弱く低調に推移しました。その結果、受注高は7億4百万円（前年同期比65.9%減）、売上高は8億2千1百万円（前年同期比61.7%減）となりました。



【その他の部門】

その他の部門では、営繕工事や駐車装置が減少し、受注高は1億4百万円（前年同期比45.6%減）、売上高は1億4千9百万円（前年同期比29.4%減）となりました。



トピックス

「アソートブーメランシステム」

(低温食品仕分けセンターにおける高生産性仕分けシステムの開発) -マテハン事業部-

マテハン事業部では、スーパーマーケットやコンビニエンスストアに毎日配送される低温食品の仕分けセンターから、「仕分け作業の作業生産性と、作業精度の高いシステムを導入したい」というニーズに対応する為に、食品メーカーからケース単位で入荷された商品を、届け先別に一個単位の注文にあわせて、詰合せ仕分けをする「アソートブーメランシステム」を開発いたしました。

今回、開発いたしました仕分けシステムは、従来の発想を逆転し、作業担当者にはできるだけ歩く必要がないように、常に手元に仕分けする商品、届け先別のコンテナ、仕分け情報を伝達することによって、飛躍的に詰合せ仕分け作業の生産性を向上させることができます。

さらに、システムを通過させることにより、仕分け情報の「見える化」「トレーサビリティ」が可能となり、食品業界に求められる、「安心・安全」のニーズにもお応えするソリューションをご提供できるようにになりました。

低温日配食品の仕分けは、一般加工食品や飲料などの仕分けに比べ、ニッチな市場ですが、本商品は従来にない革新的な商品であります。既に納入実績もあり、今後受注の拡大が大いに期待されます。



「アソートブーメランシステム」

「チェーン式ゲート駆動装置Semflex®-Cシリーズ」

-産業機械事業部-

産業機械事業部では、ワイヤーロープ式駆動装置の置き換えとして市場ニーズが増加している「チェーン式ゲート駆動装置Semflex®-Cシリーズ」を開発・商品化いたしました。商品の特長としては、減速機構を1つのユニットにまとめたコンパクト設計による省スペース・軽量化。また、チェーンはワイヤーロープの様に磨耗防止の給油や、ロープの伸びによる定期的な調整を必要としないので維持管理が容易になり、ライフサイクルコストが縮減できます。

市場ニーズにあった本商品は、拡販プロジェクトチームによるPR活動の成果もあり、今年度に入り多数のご引き合いをいただき、1号機を国土交通省向けに6台受注することができました。今後の受注獲得が大いに期待できます。



「チェーン式ゲート駆動装置Semflex®-Cシリーズ」

「MM750S」(高精密ワイヤ放電加工機) - 精密機械事業部 -

精密機械事業部の放電機械部門では、高精密ワイヤ放電加工機「MM750S」を開発し販売を開始いたしました。X軸移動量が700mm以上あり、ピッチ精度 $\pm 2 \mu\text{m}$ の位置決め精度を持つワイヤ放電加工機は現在市場にはありません。当社は高精密ワイヤ放電加工機シリーズ(Super MM500S)において、ピッチ精度 $\pm 1 \mu\text{m}$ を実現しています。同様の製造技術を用いて、今回、X軸移動量750mmで、ピッチ精度 $\pm 2 \mu\text{m}$ 以内を、他社に先駆け実現いたしました。

この開発により、プレート寸法が500mm以上でも、ジグ研削加工を無くすと同時に、2分割方式を取り止め、1プレート方式にすることで、段取り替えによる精度誤差を排除し、低コスト短納期で金型プレートを加工できる技術開発に成功いたしました。今後の拡販が大いに期待されます。



「MM750S」

INTERMOLD 2009 (第20回金型加工技術展)

■会期 平成21年4月8日(水)～11日(土)
■会場 東京国際展示場(東京ビックサイト)

INTERMOLDは、モノづくりのマザーツールと言われる金型の加工技術が一堂に会した展示会で、工作機械、工具、計測機器、金型部品、CAD/CAM/CAEなど広範な機械・システムが展示されています。

今回当社は、超精密加工を実現する、プロフェッショナル性能を有する高速・高精密ワイヤ放電加工機の新シリーズ「Super MM500S」を出展展示いたしました。

超精密を追求し、世界最速の自動ワイヤ供給装置を搭載した同機種は、業界関係者の大反響をいただきました。



連結財務諸表（要約）

■ 第2四半期連結貸借対照表

単位：百万円
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科 目	第77期第2四半期 平成21年9月30日	第76期第2四半期 平成20年9月30日	第76期 平成21年3月31日
(資産の部)			
流動資産	9,444	11,363	12,334
固定資産	11,649	11,560	11,952
有形固定資産	8,937	8,368	9,105
無形固定資産	24	21	26
投資その他の資産	2,688	3,170	2,820
資産合計	21,093	22,923	24,286
(負債の部)			
流動負債	3,544	5,295	6,881
固定負債	3,752	3,838	3,752
負債合計	7,297	9,134	10,634
(純資産の部)			
株主資本	10,502	10,413	10,538
資本金	2,658	2,658	2,658
資本剰余金	2,502	2,502	2,502
利益剰余金	5,631	5,528	5,667
自己株式	△ 290	△ 276	△ 289
評価・換算差額等	3,293	3,376	3,113
純資産合計	13,796	13,789	13,652
負債純資産合計	21,093	22,923	24,286

■ 第2四半期連結損益計算書

単位：百万円
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科 目	第77期第2四半期 平成21年9月30日まで	第76期第2四半期 平成20年9月30日まで	第76期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
売上高	5,446	7,663	16,360
売上原価	4,273	5,760	12,553
売上総利益	1,172	1,903	3,807
販売費及び一般管理費	1,221	1,486	2,971
営業利益(損失△)	△ 48	416	836
営業外収益	108	57	105
営業外費用	13	17	36
経常利益	46	456	904
特別利益	0	1	0
特別損失	0	20	70
税金等調整前四半期(当期)純利益	46	437	835
法人税、住民税及び事業税	27	57	255
法人税等調整額	△ 9	137	129
四半期(当期)純利益	27	243	449

■ 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科 目	第77期第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	第76期第2四半期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	第76期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 294	△ 1,368	△ 339
投資活動によるキャッシュ・フロー	23	△ 334	△ 812
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 63	△ 159	△ 236
現金及び現金同等物の増減額	△ 335	△ 1,861	△ 1,389
現金及び現金同等物の期首残高	2,892	4,281	4,281
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	2,557	2,420	2,892

会社の概況・株式の状況 (平成21年9月30日現在)

■ 会社の概況

- 商 号 西部電機株式会社
- 英 訳 名 Seibu Electric & Machinery Co.,Ltd.
- 本店所在地 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
- 設 立 昭和14年2月1日
- 資 本 金 26億5,840万円
- 従業員数 418名 (連結460名)
- 役 員

取締役社長
(代表取締役) 吉 住 一 成

専務取締役 局 杉

常務取締役 宮 地 敬 四 郎

常務取締役 木 村 稔

取 締 役 大 串 秀 文

取 締 役 藤 岡 敬 正

取 締 役 木 谷 泰 博

取 締 役 中 里 晋 也

取 締 役 税 所 幸 一

常勤監査役 平 塚 皓

監 査 役 小 西 正 純

監 査 役 鬼 頭 正 雄

(注) 監査役小西正純、鬼頭正雄の両氏は社外監査役であります。

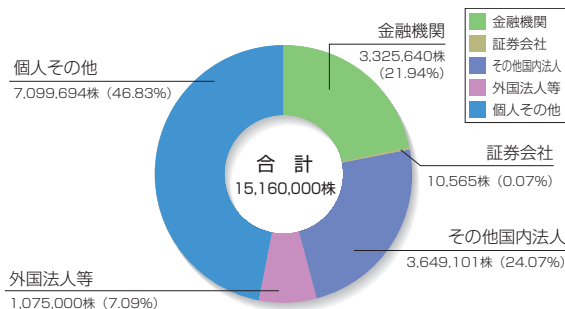
■ 株式の状況

- 発行可能株式総数 32,980,000株
- 発行済株式の総数 15,160,000株
- 株 主 数 1,628名
- 大 株 主

株 主 名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社安川電機	2,630	18.71
株式会社三菱東京UFJ銀行	650	4.63
株式会社福岡銀行	633	4.50
みずほ信託銀行株式会社	626	4.45
株式会社西日本シティ銀行	589	4.19
西部電機従業員持株会	395	2.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	385	2.73
バンク オブ ニューヨーク シーシーエム クライアント アカウンツ シェービー アールイーシー アイティーアイシー	325	2.31
エスジーエスエス/エスジーピーティー ルクス	229	1.62
村上 博	215	1.52

(注) 1. 当社は、自己株式1,105,845株を所有しております。
2. 出資比率は自己株式 (1,105,845株) を控除して計算しております。

●所有者別分布状況



超精密とメカトロメーション®を追求する

Seibu

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	1,000株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ（ http://www.seibudenki.co.jp/ ）に掲載いたします。 なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人 および特別口座管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
お問合せ先 〔郵便物送付先〕 〔電話問合せ先〕	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324（フリーダイヤル）

【お知らせ】

当社は、昭和61年に福岡証券取引所に上場し、平成3年に大阪証券取引所市場第二部に、平成18年に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。

今後、株式売買の取引集約および重複上場に伴う管理業務・管理コストの削減を図ることを目的として、大阪証券取引所市場第二部を平成21年9月27日をもって上場廃止いたしました。

なお、東京証券取引所市場第二部および福岡証券取引所の上場については継続いたしますので、本件による株主・投資家の皆様への実質的な影響はございません。

ホームページのご案内

<http://www.seibudenki.co.jp/>

または、

西部電機

検索

